

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

254-772

事務事業名	文化会館施設整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	文化会館		包含する細々目	1	10	5	7	10	3	10,000
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	27 文化芸術の振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	\$50	年度～	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田文化会館	主な改修対象箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			4				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	安全で質の高いサービスを提供する。	施設・設備のクレーム・要望件数	18目標	0	最終目標		
			18実績	7	19目標	5	↑ 最終目標達成年度
			23目標	5	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	築後34年を経過した会館の改修を計画的にすすめ、市民の安全・快適な利用を図る。 (18年度計画 アスベスト除去工事は17年度からの繰越明許であるが、実質的予算執行は18年度のため、「17予算額」「17決算額」に含まず、「18予算額」へ加算する。)	文化会館多機能トイレ等整備工事(起債対象予定事業) 文化会館アスベスト除去工事(起債対象事業)(17から繰越明許) 文化会館ホールピンスポットライトほか、修繕	必要改修箇所数	28
	18年度の実績			
	19年度計画	非常照明用蓄電池取替工事 高圧電気設備改修工事 ホール舞台吊物設備改修工事 ホールピンスポットミラー交換修繕	必要改修箇所数	4

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	33,900	
	その他		
	一般財源	6,324	10,000
事業費計(A)	40,224	10,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	143
	トータルコストA+B	40,403	10,143

特定財源内訳や補足事項	18年度:一般事業(石綿対策授業)(充当率0.95) (17から繰越明許) 18年度:少子・高齢化対策事業債(充当率0.9)
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでも誰でもどこでも気軽に親しみ自己表現の機会が得られる	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>施設の老朽化に歯止めをかけ、適切に維持延命を図る。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>平成元年より自主事業館に変わり、いいだ人形劇フェスタ・アフィニス夏の音楽祭・自主事業等、様々な催し物に対応し、質の高いサービスを提供するためにも必要な事業となっている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>開館後30年以上を経過し老朽化している施設に対する改修・耐震対策の意見が、市議会一般質問・利用者から寄せられている。</p>
---	---	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>改修により、安全で質の高いサービスを提供することができている。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>市民ニーズを把握し、きめ細かな改修を実施することにより、さらに快適な利用が可能となる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>対象は変わらない。</p>	<p>有効性評価</p> <p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>施設・設備の老朽化が進み、危険性の増大とサービスの低下をまねき、さらには施設の使用不能状態に至る。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>意図するものは変わらない。</p>	<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>市が建設した建物であり、安全で質の高いサービスを市民に提供する責務がある。</p>	<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>小修繕などを行ない、改修や更新の適期を過ぎてから事業を実施しており、さらに遅らせることは適当でない。また、本事業は最小限の人員で対応している。</p>
			<p>公平性評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>受益者は施設利用者(団体)及び来場者施設使用料の改定を行い、平成16年度から適用している。市7割、利用者3割の負担割合も妥当と考える。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 2018年度</p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>市民などから強く要望されている事項及び、施設管理委託事業者からの報告を参考に、特に緊急性の高い事業から実施していく。</p> <p>19年度は、前記の方向性に加え、施設の安全性を最優先に事業を選択した。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>老朽化に伴い、改修を要する個所が増大していくのに対し、今後ますます予算確保が厳しくなると考えられるが、飯田下伊那の中心的施設として機能を維持・発展させていくことができるかが課題。</p> <p>対応としては、中・長期の改修計画を立て、関係者・関係機関の理解を得る。</p>
--	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	